

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につなぐ授業実践例

公開授業

学年部会で個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業を構想し、公開授業を行った。

生活科（1年生）

○単元名

ふゆ だいすき
（小単元）かぞく だいすき

○本時の目標

家庭における家族の活動や様子の観察の結果を交流し、自分や家族が笑顔になる瞬間やその理由について考えることができる。

○ICT活用

- ①情報の整理・分析の過程で、取材結果を、Yチャートを用い、3つの視点で分類させる。
- ②本時のふりかえり。



音楽科（4年生）

○題材名

日本の音楽でつながろう

○本時の目標

3人一組になり、それぞれがつくった旋律のつなげ方の工夫を考えながら、8小節の旋律をつくり、自分が選んだ楽器で演奏したり、聴き合ったりできる。

○ICT活用

- ①教科書付属のコンテンツを用い、旋律づくりをさせる。
- ②旋律カードの並べ替えをさせる。
（他グループがつくった旋律を他者参照できるようにしておく。）
- ③自分たちの演奏動画撮影。
- ④京都市が作成した教材「コトラッチ」の活用。



図画工作科（5年生）

○単元名

動いてクレイアニメーション

○本時の目標

クレイアニメーションの仕組みや手順、必要なものについて理解する。

○ICT活用

- ①課題設定の過程で、教師が作ったクレイアニメーションを見せ、学習意欲を高める。
- ②情報収集のためのリンク集を用意して、自由に活用させる。
- ③整理分析で、まとめたシートを他者参照できるようにしておく。

